【別添－３】

ＩＣＴ活用工事（河川浚渫）計画書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄※実施項目に☑ | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
|[ ]  ①３次元起工測量 |  |  | １．音響測深機を用いた起工測量２．その他の３次元計測技術を用いた起工測量　〔２．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　〕　※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
|[ ]  ②３次元設計データ作成 |  | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成を実施しなければならない |
|[ ]  ③ＩＣＴ建設機械による施工 | 【作業工種】・浚渫工（バックホウ浚渫船） | 3次元MCまたは3次元MG建設機械※ＭＣ：「マシンコントロール」の略称、ＭＧ：「マシンガイダンス」の略称※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲については、受注後の協議により決定する。※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ＩＣＴ建設機械を活用すれば良い。 |
|[ ]  ④３次元出来形管理等の施工管理 | 出来形 |  | １．音響測深機を用いた出来形管理（経費補正適用）２．施工履歴データを用いた出来形管理３．その他の３次元計測技術を用いた出来形管理　（※「１」に類似するその他の３次元計測技術を用いた場合、経費補正適用）　〔３．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　　〕※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。 |
|[ ]  ⑤３次元データの納品 |  |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（河川浚渫）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ全活用 | ＩＣＴ一部活用 |
| タイプ① | タイプ② | タイプ③ | タイプ④ | タイプ⑤ |
| 1）３次元起工測量 | ○ | ○ | － | － | ○ | － |
| 2）３次元設計データ作成（必須） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3）ＩＣＴ建設機械による施工 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | － |
| 4）３次元出来形管理等の施工管理 | ○ | － | ○ | － | ○ | ○ |
| 5）３次元データの納品（必須） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |